

『ロータリーデー』～ヨットクルージング&ハワイアン～

2014年9月27日(土)、芦屋マリーナにおいて「ロータリーデー」が開催されました。当日は、ロータリーメンバーに加え、会員家族、ヨットのクルー、本年度40周年を迎える神戸ローターアクトクラブのメンバーなど、総勢51名が参加いたしました。

まず、夕方前から日没までの約2時間は、道満副会長の『CHRISTINA ROSETTI』号と森本啓久会員の『六兵衛』号に分乗し、ヨットクルージングを楽しみました。

クルージング中は、舵取りの体験をしたり、海に足をつけたり、また記念撮影に興じました。中でも、好天に恵まれての夕日は素晴らしく綺麗で、感動的な光景でした。

クルージング終了後、「ハーバーダイニング&リゾート マレロツソ」のテラスで、ウエルカムドリンク飲みながら、まるで地中海を想わせるマリーナの光景を楽しんだ後、お待ちかねの食事会が開かれました。

親睦活動委員会の木下学委員長による司会・進行に始まり、まず小野会長に開会ご挨拶を頂戴し、引き続きローターアクトクラブの濱野貴子会長による活動報告がありました。

そして、植村会員による乾杯のご発声で開宴となりました。

食事は、伊勢海老のビスクスープから始まり、前菜盛り合わせ、海の幸の Pasta、国産黒毛和牛のグリルなど、本格イタリアンを堪能しました。お店に特設されたステージでは、3名のハワイアンバンドによるハワイアン・ミュージックに合わせ、色鮮やかな衣装に身を包んだ十数名のフラダンサーが、素晴らしいフラダンスを披露されました。

そしてあっという間に定刻が訪れ、道満副会長より中締めのご挨拶を頂戴し、盛会のうちにお開きとなりました。

初めてのロータリーデーということで、今回は「新世代デー」とでも言える内容で開催されました。

会長挨拶では、Gary C. K. Huang RI 会長の 2014～2015 年度のテーマとしての”Light Up Rotary”「ロータリーに輝きを」を語られ、またロータリー財団の未来の夢計画の重点分野の 6 項目についても説明されました。

その後、瀧澤功治 2014～2015 年度 ガバナーの行動指針である Try something new! 「何か新しいことをしよう!」、そして「ロータリーデー」の意義についても語られました。

神戸ロータリークラブは、90 年の誇りある伝統と、近年大きく変貌を遂げつつある RI との調和を図りながら、「明るく楽しい例会」と「輝きのある神戸 RC」を目指し、クラブ運営並びに積極的な奉仕活動に努力しております。と締めくくられました。

各テーブルには「ロータリーの友 9 月号」「KOBE Rotarian 4/5/6 月号」、参加者全員には「神戸ロータリークラブについて」「神戸ローターアクトクラブ活動報告書」「神戸インターアクトクラブ活動報告書」が配布され、ロータリーを詳しく紹介することが出来ました。また参加したローターアクトクラブのメンバーは貴重な体験が出来たと喜び、RI 会長も出席される台湾の姉妹クラブ、新竹 RC 創立 60 周年記念式典にも参加したいと、数名のローターアクターより要望もありました。

(ローターアクター 2 名、ローターアクター父兄参加あり)



